

神経難病、神経・筋疾患の診療について



医療の「時間軸」に寄り添い、
難病とともに歩む人生を支える

国立病院機構 東 埼 玉 病 院

院長 尾方 克久

神経難病診療の最前線で

果たすミッションと病院の強み

東埼玉病院は、神経難病や神経・筋疾患を抱え、病気の進行とともに人生を歩んでいかれる方々を、長きにわたり支え続けてきた専門医療機関です。

当院が掲げるミッションは、患者さんを「治すこと」と「癒すこと」を両輪として提供することです。急な対応を要する救急医療よりも、患者さん一人ひとりに深く寄り添い、生活の中にある病気や障害をサポートし、治しながら、癒しながら支えることに当院の強みがあります。

難病の患者さんが病気全体の経過の中で今自分がどのぐらいの位置にいて、今何をすべきか、次に何が起こりそうなのかということをゆっくりお話する時間は、一般の救急病院ではなかなか作れないことが多く、そのチャンスをつくって患者さんやご家族にお話しをするのが、我々の役割だと思っています。

入院患者さんの構成を見ても、ALSや筋ジストロフィーなどの「痩せる病気」が約3割を占めるほか、パーキンソン関連の「震える病気」、脊髄小脳変性症などの「ふらつく病気」がそれぞれ約2割。免疫性神経疾患なども含め、約9割が難病の患者さんであり、慢性進行性の神

経疾患を幅広く診ています。

地域・大学との多層連携と在宅志向への対応

当院の診療は、大学病院からのご紹介を受け、その後の慢性期・進行期の診療を担う連携体制が確立されています。さらに、近隣のクリニックや病院との連携も重要です。当院で正確な診断を行った後、普段の診療は地域のかかりつけ医に委ね、当院では年に数回、神経内科学的な診察を行い、病状の進展に応じた治療調整や生活指導、治療方針の決定を行います。特にコロナ禍以降の近年は、「入院はできるだけしたくない」という在宅志向が加速度的に強まっており、地域での生活を支えるサポート体制の構築が喫緊の課題となっています。

病気に「時間軸」への意識と医師のアイデンティティを築く

当院では、内科系の初期・専門研修を他施設との連携プログラムとして実施しています。若手医師には、特に二つのことを強く期待しています。

1. 病気に「時間軸」があることを意識せよ

病気は、個人の一生にわたって変化していくものです。パーキンソン病一つとっても、電車で都心へ通える方もいれば、完全に寝たきりの方もいます。時期によって患者さんにできること、できないこと、最も困っていることは異なります。

病気は患者さんの人生に沿って変化していくものだということを意識した上で患者さんを診察して欲しいです。急性期から回復期、在宅サポートまで、病気の全経過に沿って対応できるNHOの一員であるからこそ、病気の時間軸を意識した研修は、若手医師にとってかけがえのない経験となります。

2. 「医師のアイデンティティ」を確立せよ

日々進化する医学において、知識や技術は変わる可能性があります。しかし、医師としての核となる「アイデンティティ」は一生ものです。

そもそも自分はなぜ医学部に入って医師になったのか、医師免許を持って自分は患者さんやご家族や勤め先や日本の医療に何が出来るのか、何をするために自分が医師になったのか、それを考えて欲しいです。

当院は「学ぶ病院」のスローガンを継承し、様々な職種や学生にとって学びの場となることを目指しています。レジデントの先生方には、周囲の上級医を「生きた教材」と捉え、良いところを積極的に取り入れて、自分にとっての唯一無二の医師像を確立してほしいと強く願っています。

公衆衛生の向上

NHOの矜持

NHOの仕事は、目の前の患者さんへの診療だけではありません。地域医療を支え、研究を推進し、広い視野で日本の公衆衛生の向上と増進に寄与することこそが、法が定めるNHOの目的であり、我々の矜持です。「公衆衛生に寄与した」経験は、今後のキャリアにおいても必ず生かされるはずです。また、NHOでは、専門医取得前後の若手医師を主な対象とした「良質な医師を育てる研修」を各領域で開催しています。これらの場を活用し、知識や実技だけでなく、講師陣の「医療に取り組む意識」に触れてほしいと思います。

ぜひ、あなたにとって医師とは何か、あなたの医師としてのアイデンティティをレジデントの間に考えていただければと思います。それを考える場として、NHOには色々な病院があり、多様な研修会もありますので、ぜひ活用して、自分の今居るところだけではなく積極的



に色んなところをみて経験を積んでいただければと思っています。



PROFILE

出身地：熊本県

出身大学：東京大学

(1993年卒)

宝 物：恩師と仲間

座右の銘：肝心なことは目に見えない
(「星の王子さま」より)

研修医へオススメの本

理科系のための英文作法

中公新書1216
杉原 厚吉(著)



国立病院機構

東 埼 玉 病 院

住 所 〒 349-0196

埼玉県蓮田市黒浜 4147

WEB <https://higashisaitama.hosp.go.jp>

病床数 **532** 床 診療科数 **17** 科

東埼玉病院のある街



埼玉県東部に位置する蓮田市は、大宮台地の豊かな地形と水辺の景観が息づく街です。市域の中心部を流れる元荒川、西端の市境を流れる綾瀬川といった大小の河川のほか、多くの沼や池が点在し、水辺の潤いに満ちた穏やかな風景が広がります。落ち着いた暮らしやすさと、水と緑に囲まれた自然の風景に魅力が調和した地域です。